

歳出科目（P274～P275）	8款2項4目	橋梁維持費
-----------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
橋梁維持費	528,942	414,717	114,225

主な財源		主な経費	
国庫支出金	289,465	委託料	390,650
市債	184,800	工事請負費	135,149
一般財源	54,677	公有財産購入費	2,772
		補償、補填及び賠償金	371

橋梁の損傷箇所の修繕を行い、長寿命化を図るもの

【目的】

一般交通に支障を来さないよう、橋梁の損傷箇所の適切な修繕を行うとともに施設の長寿命化を図る。

【4年度目標】

- ・橋梁 377 橋並びに大型カルバート 2 基の定期点検を早期に発注し、12 月末までに完了する。このほか、跨線橋の 3 橋の定期点検については、鉄道管理者と早期に協定を締結し、3 月下旬までに完了する。
- ・早期措置段階の 7 橋の修繕工事を早期に発注する。

【実施内容】

- ・橋梁修繕工事等（合併前上越市ほか 3 区 8 橋）

地区	橋梁名（路線名）	施工地	実施内容	位置図ページ
合併前 上越市	無名橋（富岡木田線）	北田屋新田	修繕工事	72
	古川橋（地頭方上中田線）	青木	修繕工事	
	無名橋（上昭和町藤巻線）	滝寺	修繕工事	
大潟区	潟町歩道橋（大潟 329 号線）	潟町	架替工事 用地取得 物件補償	
頸城区	舟場橋（百間町舟場線）	百間町ほか	修繕工事	
	無名橋（下三分一村中 4 号線）	下三分一	修繕工事	
中郷区	無名橋（坂本西田線）	板橋	修繕工事	
	無名橋（金山 1 号線）	二本木ほか	修繕工事	

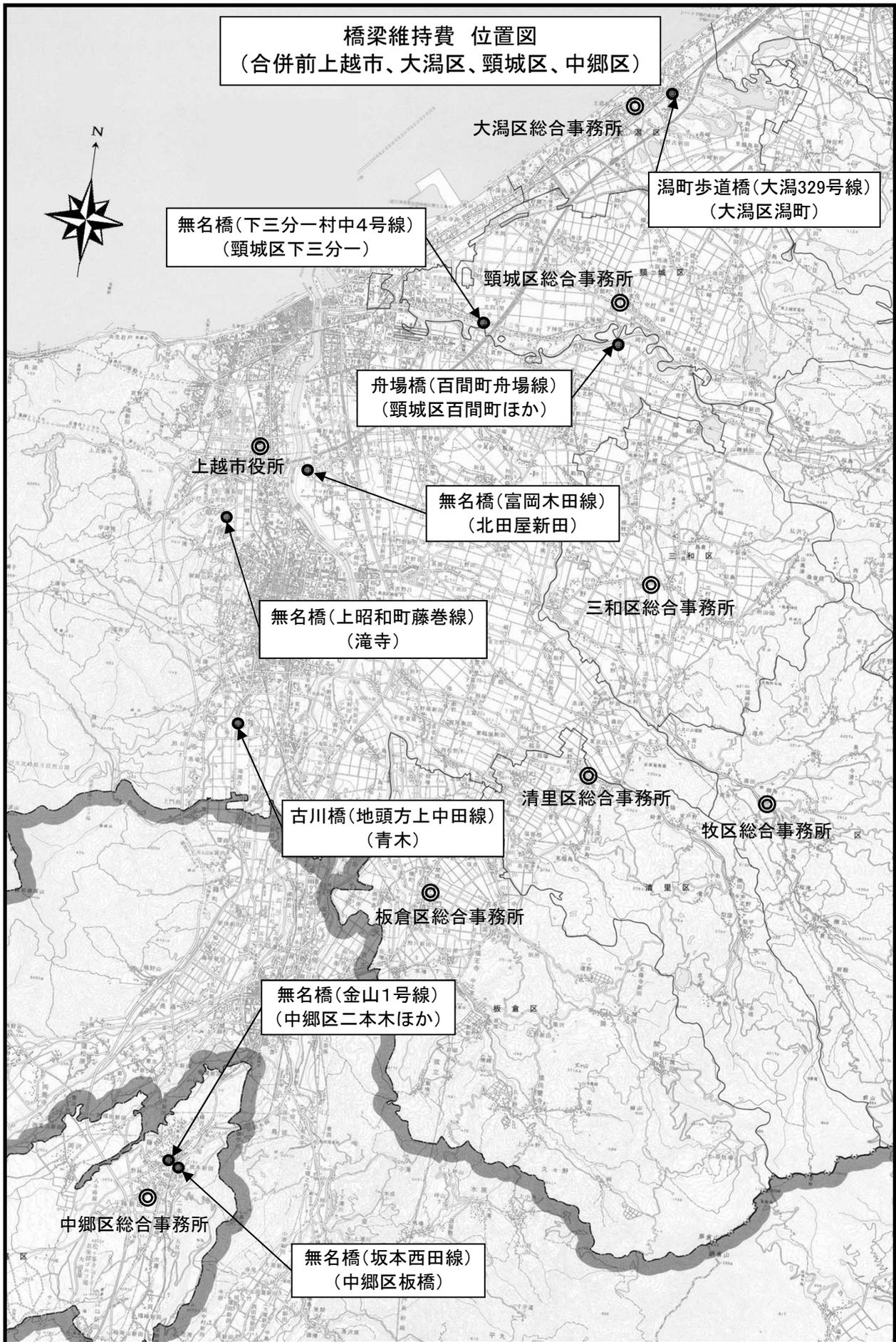
・点検委託（合併前上越市ほか 12 区 380 橋、合併前上越市 2 基）

地 区	橋梁名	施工地	実施内容
市内 一円	黒井橋ほか 379 橋	黒井ほか	橋梁点検
合併前 上越市	春日山アンダーパスほか 1 基	木田一丁目ほか	大型カルバート点検

※ 前頁の「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。
 ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している。

本年度			前年度			比較
令和 3 年度 3 月 補 正 予 算 額 (※)	当初予算額	合計	令和 2 年度 3 月 補 正 予 算 額	当初予算額	合計	
42,647	528,942	571,589	65,406	414,717	480,123	91,466

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。



歳出科目（P274～P275）	8款2項5目	除雪費
-----------------	--------	-----

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
消融雪施設管理費	129,853	149,523	△19,670

主な財源		主な経費	
国庫支出金	1,019	需用費	48,726
県支出金	4,779	役務費	936
諸収入	97	委託料	56,306
一般財源	123,958	工事請負費	21,511
		負担金補助及び交付金	1,745

冬期間の道路交通を確保するため、消雪パイプや流雪溝などの修繕等を実施し、継続して施設を利用できるよう維持管理するもの

○消融雪施設管理 105,908

【目的】

市道等に設置している消融雪施設の点検、清掃及び管理を行い、冬期間の円滑な道路交通の確保を図る。

【4年度目標】

消融雪施設の冬期前点検、清掃、調整を早期に実施し、点検結果により不具合が生じている送水管、散水管、電気設備等については、その修繕箇所を特定する。

【実施内容】

消融雪施設の点検管理業務委託等を実施し、効果的な施設管理を行う。

- ・消雪パイプ延長 L=73 km 流雪溝延長 L=17 km

○消融雪施設等修繕工事 23,945

【目的】

消融雪施設の修繕を的確に行い、消融雪機能を冬期中にわたり確保する。

【4年度目標】

点検で判明した消融雪施設の修繕工事を早期に実施し、降雪期までに完了する。

【実施内容】

消雪パイプや流雪溝などの老朽化及び破損等に伴う不具合箇所の修繕工事を実施し、施設の機能を維持する。

- ・消融雪施設等修繕工事

地区	修繕工事内容
合併前上越市、浦川原区、柿崎区、大潟区、頸城区、中郷区、板倉区、清里区、三和区	消雪パイプノズル交換及び漏水修繕、流雪溝修繕、電気設備修繕

※ 前頁の「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。
 ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している。

本年度			前年度			比較
令和3年度3月 補正予算額 (※)	当初予算額	合計	令和2年度3月 補正予算額	当初予算額	合計	
165,000	129,853	294,853	180,040	149,523	329,563	△34,710

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。

歳出科目（P274～P275）	8款2項5目	除雪費
-----------------	--------	-----

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
除雪費	3,180,167	3,147,022	33,145

主な財源		主な経費	
国庫支出金	838,521	諸収入	8,543
県支出金	99	市債	115,000
財産収入	5,437	一般財源	2,212,567
		需用費	190,506
		委託料	2,600,398
		工事請負費	4,704
		備品購入費	357,734
		負担金補助及び交付金	3,310

冬期間の道路交通を確保するため、除雪機械による除雪を行い市民生活の安全・安心を確保するもの

○市道除排雪事業 3,162,890

【目的】

冬期間における市道の円滑な交通を確保するため、除雪機械による計画的、効率的な除排雪作業を実施する。

【4年度目標】

通常降雪時の除雪作業を概ね午前7時前に完了させ、通勤通学時間帯の円滑な道路交通を確保する。また、異常降雪時には積雪状況や道路状況等を把握し、円滑で迅速な除排雪作業に努める。

【実施内容】

- ・除雪計画で決定した除雪路線区分及び除雪出動判断基準に基づき除雪を行う。
- ・凍結のおそれがある場合は、散布車により凍結防止剤を散布する。
- ・除雪機械9台を更新し、迅速で的確な除雪体制を構築する。

除雪機械更新内訳

車種	台数	配置区
除雪ドーザ 14t～16t級	4	安塚区、中郷区、三和区(2)
ロータリ除雪車 2.2～2.6m級	4	合併前上越市、牧区、吉川区、三和区
小形ロータリ除雪車 1.3m級	1	吉川区

○小型除雪機購入費補助事業 2,400

【目的】

除雪機械が入れない狭隘な道路や高齢者宅前などを地域の住民が共同で除雪する場合、小型除雪機の購入代金の一部を補助することで、地域の共助による除雪を推進する。

【4年度目標】

広報上越等により積極的かつ早期に補助事業を周知し、降雪期までに事業を完了する。

【実施内容】

- ・補助率
購入費の40%以内（1台につき80万円限度）
- ・補助金交付予定台数 3台

○除雪オペレーター人材確保促進事業補助金 900

【目的】

除雪作業の重要性が増す中、熟練除雪オペレーターのリタイアが予測されることから、今後、除排雪作業に従事する人材を確保していく必要がある。

このことから、除雪機械作業の有資格者を増やすため、市道の除雪オペレーターに従事を希望する満61歳未満の者に対し、資格取得に係る経費の一部を補助する。

【4年度目標】

除雪事業者や建設業協会に補助事業の積極的な利用を促し、除雪オペレーターの担い手確保を図る。

【実施内容】

- ・補助対象となる資格
 - (1) 大型特殊自動車免許
 - (2) 運転技能講習
- ・補助率
資格取得に要した経費の1/2（1名につき5万円限度）
- ・補助金交付予定人数 18名

○緊急除雪作業報償金 5,000

【目的】

異常降雪等により一時的に市道除雪事業者が道路除雪作業を実施できない場合に備え、緊急的に市道除雪を行った町内会等に対し報償金を支給することで、地域が行う除雪活動を支援する。

【4年度目標】

除雪事業者及び関係機関と連携し、迅速で的確な除排雪作業を実施し、緊急除雪作業報償制度が発動しないよう冬期道路交通確保を図る。

【実施内容】

- ・対象箇所
おおむね30m以上の市道（除雪路線の車道のみ）
- ・対象となる経費
 - (1) 除雪機械の借上費
 - (2) 機械の燃料費
 - (3) 除雪労務費
- ・報償金
上限5万円

[充]○除雪支援システム実証モデル事業 2,297

【目的】

I C T技術を活用した除雪支援システムの実効性の検証を行い、除雪支援システム導入による機械除雪作業の省力化・効率化と安全性の向上を目指す。

【4年度目標】

除雪支援システムの実効性を評価し、除雪現場の省力化に期待が持てる I C T技術の導入を推進する。

【実施内容】

- ・ 除雪支援システム機器購入
- ・ 除雪支援システム支障物件入力業務委託

提出課	建築住宅課
-----	-------

歳出科目 (P274～P277)	8款2項6目	克雪総合計画費
------------------	--------	---------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
克雪住宅推進費	15,350	9,350	6,000

主な財源		主な経費	
国庫支出金	4,087	負担金補助及び交付金	
県支出金	7,175		15,350
一般財源	4,088		

雪下ろしの負担軽減を図るほか、屋根雪下ろし中の転落事故の未然防止を図るため、克雪住宅の整備や命綱固定アンカー等の設置に要する経費の一部を補助するもの

【目的】

雪下ろしの負担軽減を図るため、住宅の克雪化を支援するとともに、屋根雪下ろしに起因する転落事故を未然に防止するため、命綱固定アンカー等の設置普及を促進する。

【4年度目標】

克雪住宅の増加や命綱固定アンカー等の設置普及に向け、広報上越や市ホームページ等を活用して制度の周知を図るとともに、降雪前に工事が完了するよう申請書受理後は速やかに交付決定を行う。

【実施内容】

- ・克雪すまいづくり支援事業補助金

対象地域 … 大潟区及び頸城区を除く全市

区分	補助額	件数	計
耐雪式、落雪式等(一般世帯)	330	27	8,910
耐雪式、落雪式等(要援護世帯)	440	1	440
計	—	28	9,350

- [新]・屋根雪下ろし命綱固定アンカー等設置費補助金

対象地域 … 全市

区分	補助額	件数	計
要援護世帯	100	50	5,000
一般世帯	50	20	1,000
計	—	70	6,000

※ 前頁の「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。
 ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している。

本年度			前年度			比較
令和3年度3月 補正予算額 (※)	当初予算額	合計	令和2年度3月 補正予算額	当初予算額	合計	
5,012	15,350	20,362	0	9,350	9,350	11,012

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。

提出課	河川海岸砂防課
-----	---------

歳出科目 (P276～P277)	8款3項1目	河川総務費
------------------	--------	-------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
河川管理費	247,899	59,564	188,335

主な財源		主な経費	
国庫支出金	1,533	市債	176,900
県支出金	32,663	一般財源	36,794
諸収入	9		
		報酬	693
		需用費	1,004
		委託料	20,113
		使用料及び賃借料	429
		工事請負費	224,150
		負担金補助及び交付金	625

市管理河川等の維持管理を実施するほか、関係機関及び関係団体と連携し、河川事業の促進や環境保全に向けた施策を実施するもの

○河川維持修繕・委託業務等 78,383

【目的】

河川及び河川公園の機能を適切な状態に保つよう維持管理を行うとともに、増水時には排水樋門や排水ポンプ等について適確な運転操作を実施し、内水被害の防止に努める。また、地元関係団体等の活動を支援し、河川改修の促進や環境美化の向上を図る。

【実施内容】

- ・樋門等維持管理委託 排水樋門や排水ポンプの操作
- ・河川等維持管理委託 市管理河川、河川公園等の清掃、除草
- ・河川等維持工事 市管理河川等の維持・修繕工事
- ・負担金 各種同盟会や協議会への負担金
- ・保倉川放水路まちづくり検討 保倉川放水路整備に伴うまちづくりの検討

○緊急しゅんせつ推進事業 4,019

【目的】

河川に堆積している土砂の撤去を実施し、流下能力の確保を図る。

【4年度目標】

しゅんせつ工事については、早期に発注し、年内に完了する。

【実施内容】

地区	河川名	施工地	主な実施内容	位置図ページ
清里区	石油川	上田島	堆積土砂撤去 L=120m	82

[充]○緊急自然災害防止対策事業 162,486

【目的】

河川の護岸崩落防止対策を実施し、災害の発生予防を図る。

【4年度目標】

対策工事については、早期に発注し、年内に完了する。

【実施内容】

地区	河川名	施工地	主な実施内容	位置図 ページ
合併前 上越市	無名川	西山寺	浸水防止対策 L=160m	83
	無名川	下箱井	崩落防止対策 L=400m	
浦川原 区	無名川	有島	崩落防止対策 L=20m	82
	無名川	東俣	崩落防止対策 L=40m	
	無名川	中猪子田	洗掘防止対策 L=5m	
大島区	無名川	大平	洗掘防止対策 L=12m	
板倉区	別所川	関田	崩落防止対策 L=20m	
	無名川	久々野	崩落防止対策 L=14m	
三和区	錦川	錦ほか	崩落防止対策 L=385m	
	代官免川	今保ほか	浸水防止対策 L=80m 崩落防止対策 L=120m	
	江象川	大ほか	崩落防止対策 L=50m	
名立区	無名川	森	崩落防止対策 L=12m	83

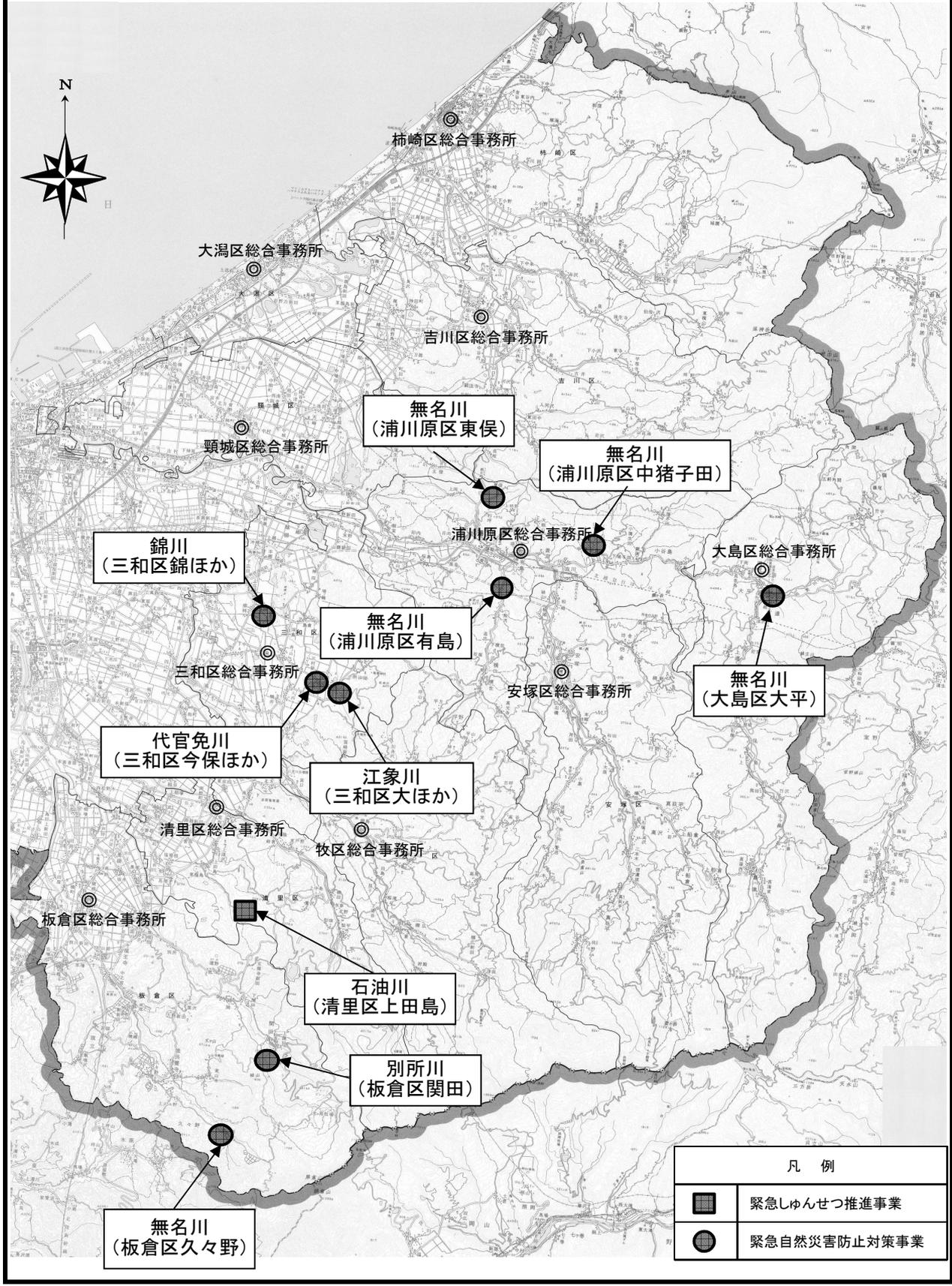
※ 前頁の「本年度」及び「前年度」の金額は当初予算額である。

ただし、下記の表は、各年度における国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による補正予算の影響額を反映し、実質的な予算比較を表示している。

本年度			前年度			比較
令和3年度3月 補正予算額 (※)	当初予算額	合計	令和2年度3月 補正予算額	当初予算額	合計	
0	247,899	247,899	60,500	59,564	120,064	127,835

※各年度の補正予算額は、国の補正予算を活用した事業費の前倒し等による額を示す。

河川管理費 位置図
 (浦川原区、大島区、板倉区、清里区、三和区)



河川管理費 位置図
(合併前上越市、名立区)

